ω net “オメガネット”

ピューリックωの最新情報を公開

ピューリックω超純水を用いた測定事例（最新型ICP-MSの評価例）

ORGANO

ICP-MSにおけるブランク水の評価例

株式会社島津製作所　京都ラボ様にて、最新型 ICP-MS のブランク水用にピューリックωの超純水をご評価頂きました。

分析条件
- 分析装置　ICPMS-2030（島津製作所）
- 分析方法　ピューリックωの超純水を ICP-MS で測定しました。
  超純水を用いて検量線を作成し、DL と BEC より結果を算出しました。

■ ICPMS-2030で測定した主要な元素

元素	質量数	結果	元素	質量数	結果	元素	質量数	結果
Al	27	<10ppt	Fe	56	<10ppt	Sc	45	<10ppt
B	11	<20ppt	Li	7	<10ppt	Se	79	<100ppt
Cd	111	<1ppt	Mo	95	<1ppt	Sn	119	<1ppt
Co	59	<1ppt	Ni	60	<10ppt	Sr	88	<1ppt
Cr	52	<10ppt	Pb	208	<1ppt	Ti	48	<10ppt
Cs	133	<1ppt	Rb	85	<1ppt	Zn	66	<10ppt
Cu	63	<100ppt	Sb	122	<1ppt			

測定結果について

いずれの元素も下限値以下で通常使用されている他社製超純水装置と同等グレードの水質であり、ピューリックωの超純水が最新型ICPMS-2030のブランク水として適している事を確認できました。

特にB（ホウ素）が<20ppt（検出せず）と既設装置（50～100ppt）よりも低く出ており、ホウ素濃度が極めて低い超純水を安定的に製造できるピューリックωの特長が出ていると推測できます。

ピューリックωをご使用頂いて…

他社製超純水装置は採水口末端にフィルタが設置されている為、採水時の水流が弱いと感じたのに対し、ピューリックωは安定的に最大流量が保持され、ストレスの少ない採水ができた事をご評価頂きました。これはピューリックωが最終フィルタを末端ではなく循環経路内に設置している事と、特殊形状の採水ノズル（弊社特許）により最大流量でもストレスなく採水できる事の効果と言えます。

※ピューリックはオルガノ株式会社の登録商標または商標です。

ピューリック　情報ポータルサイト
https://puric.organo.co.jp/

LAB SALON by ORGANO CORPORATION

オルガノ株式会社
〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号
機能商品事業部 Phone 03-5635-5193

LEA.NO.S-6-8-0（2022年4月）